

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 元旦ビューティ工業株式会社
コード番号 5935 URL <https://www.gantan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 船木 元旦

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼渉外部長 (氏名) 松橋 昭博

TEL 0466-45-8771

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,819	34.1	1,069	689.9	1,093	667.1	734	894.4
2022年3月期第3四半期	8,067	10.7	135	65.9	142	64.7	73	76.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	957.61	
2022年3月期第3四半期	96.27	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,785	5,330	45.2
2022年3月期	9,237	4,677	50.6

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 5,330百万円 2022年3月期 4,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		75.00	75.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				75.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400	19.3	660	116.8	680	124.8	460	170.6	599.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	771,606 株	2022年3月期	771,606 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,726 株	2022年3月期	4,676 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	766,922 株	2022年3月期3Q	767,060 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の日本経済は、引き続きロシア・ウクライナ情勢の影響による資源高や世界的な金融引き締めを主な要因とした過度な円安の進行で様々な物価が上昇基調となりましたが、ウイズコロナのもと、個人消費を始めとして設備投資や公共投資も堅調に推移し景気は回復傾向にありました。

このような状況の中で、当社は受注総額が10億を超える大規模工事では前事業年度の遅れを取り戻し12月に完工したことや、地道な営業活動と顧客ニーズに合った製品の開発・改良などの結果、当初の予想を超えて企業の設備投資や公共投資の案件を受注・販売することができました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,819百万円（前年同期比34.1%増）となり、その内訳は製品売上高が6,204百万円（前年同期比36.4%増）、完成工事高（進捗工事も含む）が4,614百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

また、市場の資源や燃料の価格上昇で当社原材料の取引価格も軒並み上昇しておりますが、多数の特許を取得した「PASTEM-2」や「雨どい」としての高い機能や意匠を持つ当社オリジナルの「元旦内樋」などの収益力のある製品の発売や、既存製品についても、顧客へ高い機能性を訴求するなどの販売努力で収益性の改善に努めました。その結果、損益面におきましては、営業利益は1,069百万円（前年同期の営業利益は135百万円）、経常利益は1,093百万円（前年同期の経常利益は142百万円）、課税所得金額の増加で未払事業税の増加等による法人税等調整額△89百万円となり、四半期純利益は734百万円（前年同期の四半期純利益は73百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ2,547百万円増加し11,785百万円となりました。その主な要因としては、当第3四半期中の製品販売の増加で売掛金が480百万円、製品売上や工事売上の回収による受取手形・電子記録債権の増加で1,225百万円、翌事業年度以降の屋根製品製造用の金属コイルなどの原材料が102百万円など増加の要因となる一方、進捗工事物件で出来高分の資金回収を進めたことなどにより完成工事未収入金が162百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ1,895百万円増加し6,455百万円となりました。その主な要因としては、年始の手形決済等に備えた短期借入金が815百万円、仕入債務が824百万円それぞれ増加した一方、物件完成による工事の前受金減少などで契約負債が100百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ652百万円増加し5,330百万円となり、自己資本比率は45.2%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年11月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,432	1,297,104
受取手形、売掛金及び契約資産	1,586,717	2,782,542
電子記録債権	563,317	1,474,740
完成工事未収入金	443,671	281,360
製品	592,796	650,596
仕掛品	7,881	7,832
未成工事支出金	178,567	215,655
原材料	913,543	1,016,225
その他	169,772	248,597
貸倒引当金	△14,090	△15,813
流動資産合計	5,293,611	7,958,843
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	896,345	860,822
機械及び装置（純額）	285,752	252,721
土地	1,442,583	1,442,583
その他（純額）	45,627	44,766
有形固定資産合計	2,670,308	2,600,893
無形固定資産	229,368	183,994
投資その他の資産		
投資有価証券	802,200	800,400
その他	434,994	431,139
貸倒引当金	△192,526	△189,611
投資その他の資産合計	1,044,668	1,041,927
固定資産合計	3,944,345	3,826,815
資産合計	9,237,956	11,785,658

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	446,309	806,451
電子記録債務	1,560,291	1,932,749
工事未払金	216,916	309,132
短期借入金	885,000	1,700,000
未払法人税等	91,169	347,775
契約負債	175,118	75,092
製品保証引当金	40,565	50,614
工事損失引当金	1,697	—
その他	458,799	618,746
流動負債合計	3,875,867	5,840,561
固定負債		
退職給付引当金	520,531	511,787
役員退職慰労引当金	11,021	17,976
その他	152,553	85,274
固定負債合計	684,106	615,039
負債合計	4,559,973	6,455,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	100,000
資本剰余金	—	1,166,921
利益剰余金	2,955,551	3,632,436
自己株式	△18,072	△18,363
株主資本合計	4,204,399	4,880,993
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	473,583	449,064
評価・換算差額等合計	473,583	449,064
純資産合計	4,677,983	5,330,057
負債純資産合計	9,237,956	11,785,658

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	8,067,314	10,819,423
売上原価	5,570,758	7,302,440
売上総利益	2,496,555	3,516,983
販売費及び一般管理費	2,361,236	2,447,981
営業利益	135,318	1,069,001
営業外収益		
受取配当金	12,058	12,602
受取賃貸料	5,215	6,334
売電収入	8,674	7,619
その他	11,096	22,529
営業外収益合計	37,044	49,086
営業外費用		
支払利息	8,639	6,894
手形売却損	5,776	3,284
減価償却費	6,122	5,491
その他	9,242	8,542
営業外費用合計	29,781	24,213
経常利益	142,581	1,093,875
特別利益		
固定資産売却益	1,378	—
投資有価証券売却益	834	—
特別利益合計	2,213	—
特別損失		
固定資産除却損	4,139	—
特別損失合計	4,139	—
税引前四半期純利益	140,654	1,093,875
法人税、住民税及び事業税	57,192	449,468
法人税等調整額	9,614	△89,998
法人税等合計	66,806	359,470
四半期純利益	73,848	734,404

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年6月29日開催の定時株主総会の決議に基づき無償減資を行い、2022年8月1日を効力発生日として資本金1,166,921千円を減少し、その全額をその他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金100,000千円、資本剰余金1,166,921千円となっております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。